



2021年2月12日

各位

会社名 株式会社ナンシン
東京都中央区日本橋人形町 1-17-4
JPR 人形町ビル
代表者名 代表取締役社長 齋藤 邦彦
(コード: 7399 JASDAQ)
問合せ先 経営企画室長 齋藤 聖崇
TEL 03-6892-3018

業績予想の上方修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年9月1日に公表しました2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。また、2021年3月期第3四半期決算において、下記の通り特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1)2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,629	百万円 136	百万円 206	百万円 126	円 銭 18.60
今回発表予想(B)	8,510	602	660	292	43.29
増減(B - A)	881	466	445	166	—
増減率(%)	11.5%	342.6%	220.4%	131.7%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	9,066	443	568	412	59.71

2. 修正の理由

2021年3月期の連結業績予想については、国内外における新型コロナウイルスの再拡大の影響により依然として不透明な状況が続いておりますが、前回予想時点に比べ、従来の受注は予想ほどの減少にならず、加えて医療キャスターやDXに関連する備品の特別受注が増え、粗利の向上を牽引しました。また、円高基調の長期化による輸入コスト減少などの原価低減や、引き続き経費削減を推進したこと等により、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも当初予想を上回る見込みとなったため、業績予想を修正致します。

3. 特別損失の計上について

① 損失の内容

当社は、1995年に英国法人を設立しキャスター製造を開始しましたが、事業の採算性が低いため2001年11月に撤退し、事業整理を進めてきました。2020年12月には賃貸物件の賃貸契約が期限を迎えたことにより、貸主側から原状回復費用の見積もりが提示され、検討の結果、事業整理費用のうち賃貸物件の原状回復費用に関して、当初の見込み額を超えることが判明いたしました。

従いまして、この新たな事業整理費用の発生に対処するため特別損失167百万円を計上することといたしました。

② 今後の見通し

当該特別損失は、上記の「1. 業績予想について」に反映しております。来期以降の業績における影響は軽微であります

(注) この資料に記載されている業績予想値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は様々な要因の変動により予想数値と異なる可能性があります。

以上